

明日の夢、人から人へ。あなたの「みやぎん」を目指して

miyagin

宮崎銀行情報マガジン

Information
2018

Take Free

ご自由に
お持ち帰り下さい

トップメッセージ

地域と共に未来を描く

miyagin support

世界へ羽ばたく企業

介護の森株式会社

宮崎の漁業復興へ
ITで新たな販路を構築

株式会社デナーダ

宮崎県産“ボラ”の魅力を再発掘！

はまや株式会社

世界に羽ばたく
最先端のものづくり集団

マイクロカット株式会社

皆さまには、平素から宮崎銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

地域経済は、国内外の政治的・地政学的要因などの懸念材料が見受けられるものの、緩やかに回復しています。宮崎県内においては、交通インフラの整備が追い風となり、大型工場の立地や地元企業の事業拡大に伴う雇用の拡大など、明るい材料が見受けられ、長期的には地域の人口減少の抑制へとつながることが期待されます。また鹿児島県においては、NHKの大河ドラマ「西郷どん」の放映が開始され、観光業を中心に活況を呈しています。

地域への様々な投資の効果を、持続的な発展につなげていくことが当行の役割であり、「地域の発展なくして当行の成長なし」の考えのもと、宮崎銀行グループ一丸となってお客様の成長をサポートさせていただきます。

地域においては人手不足感の拡大およびIT技術の進展など、取り巻く環境の変化に伴い、お客様のニーズも多様化しています。当行では、海外に目を向けるお客様のサポートができる「インターナショナル人材」の育成や、女性や若者の創業支援、ITを活用した新たなサービスの提供、農業法人の設立など、従来の銀行業務にとらわれない新しい発想で業務運営に取り組んで

います。地域社会が抱える様々な課題に目を向け、主体的に取り組むことで、これらが点から線、線から面へと広がり、地域全体の発展につながっていくことを目指してまいります。

これからも、地域と共に未来を描き続ける企業であり続け、地域経済の活性化と企業価値の向上に努めてまいります。お客様や株主の皆さまのご期待と地域の信頼にお応えすべく全力で取り組んでまいりますので、皆様には、一層のお引き立てとご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年 6月

取締役頭取 平野 巨也

Top Message

地域と共に 未来を描く

地域への様々な投資の効果を、
持続的な発展につなげていくことが当行の役割。
宮崎銀行グループ一丸となってお客様の成長を
サポートさせていただきます。





世界に羽ばたく 最先端のものづくり集団

マイクロカット株式会社



最新鋭の機器と金属加工のスペシャリストによる確かな技術で、顧客のあらゆる要望に応える『マイクロカット株式会社』。日々進化する情報社会のインフラに、同社が製造する部品が欠かせません。

情報社会のインフラを支える

2020年の実用・商用化に向けて開発が進められている新技術『第五世代移動通信システム(5G)』など、めまぐるしいスピードで進歩を続ける情報技術。そのインフラとして世界中の海に張り巡らされているのが光海底ケーブルだ。

ケーブルは40~100kmごとに中継器でつながれ、日本とアメリカ西海岸であれば約9000kmもの総延長距離になる。さらに海底に沿って設置されるため、最も深いところでは水深8000mに位置する。

そんな過酷な環境に長期にわたって設置されることから、ケーブルにはかなりの耐久性が求められる。ケーブル同士をつなぐ中継器もまた然り。鹿児島県霧島市に本社を構える『マイクロカット株式会社』は、その中継器を保護する役割を担う重要な金属部品を加工製造している。

いち早くトレンドをキャッチ

同社が製造する部品の70%が光通信関連なのだが、光通信の部品は日々進化する



お客様のオーダーに完璧に応えるため、さまざまな測定機器を導入している。



独自の資格制度「マイスター制度」を導入しスタッフの教育にも力注ぐ。



「これからもITの世の中に貢献していきたい」と話す高木社長。



難削材加工の鍵を握るマシニングセンタの刃物。

ことから、最先端のニーズをキャッチできるような、マーケティングを重要視しているという。「高いシェアを維持するために、それ相応の努力が必要です。当社ではトップベンダーであり続けるために、こういう部品が必要になりそうですよ」とお客様に先んじて提案することを心掛けています。そのために、国内はもとより海外の通信業界の動きに常に目を光らせているんですよ」と創業者で社長の高木治邦氏は話す。

世界が一目置く加工技術

顧客からの多種多様な要望に対応するため、新たな加工機の導入など積極的に設備投資も行っている。

難削材加工のプロフェッショナル

同社が加工しているのは、『難削材』と呼ばれる金属素材だ。この難削材、航空機や

現在、同社の受注の3割を海外、特にアメリカの企業が占めている。国内の光通信関連メーカーに納入した同社の部品の加工技術に目を付けたアメリカの企業から、直接コンタクトがあったのがきっかけだ。

「光りの進む方向を制御する『光スイッチ』という、5Gの実現に欠かせない部品があります。その光スイッチを手掛けているアメリカの企業が、量産しようと国内を探した

かなければならないと考えています」。南九州のシンボルである桜島と霧島連山を共に見渡す工場で作られる高精度な部品は、私たちの暮らしを陰ながら確実に支えている。

変化が激しい業界なのでスピーディに

マイクロカット株式会社さまとお付き合いさせていただいて1年。変化がとても激しい業界ですので、私どもとしても常にアンテナを張り巡らせて最新の情報をキャッチし、いち早くさまざまなご提案をさしあげております。今後も新分野への挑戦や海外展開など、全力でサポートさせていただきます。



国分支店 営業係 支店長代理 関谷雄二



写真左から、高木社長、国分支店・長友正人支店長、国分支店・関谷支店長代理

Voice

世界へ羽ばたく企業

介護の森 株式会社



介護業界について熱い想いを語る日高憲太郎社長

独自の介護予防サービス そのノウハウを海外に！

マレーシアに伝える
「まごころ」込められた介護

人材不足が叫ばれて久しい介護業界。「給与水準が低く、仕事は体力勝負。そんなイメージが先行していることに加え、高齢化が進み要介護者の数が増えることで、今後ますます深刻さを増すとされています。

そんな中、鹿児島県に拠点を置く「介護の森株式会社」では、居宅サービスや在宅サービスを中心とした「オアシスケア」という在宅介護事業を、鹿児島・宮崎・東京で展開しているほか、介護福祉養成校を開校し、人材の育成に力を注いでいます。さらに昨年は同社の提案が国際協力機構（JICA）の中企業海外展開支援事業に採択され、マレーシアへの日本式介護の輸出を目指した調査を行いました。高齢者自身も持つ能力や回復力を重視した独自の介護予防技術

に加え、日本ならではの「おもてなしの心」を伝えることを目的とした取り組みです。「これをきっかけに日本式介護を広めることができれば、日本が人材不足で危機的状況に陥った時、逆に海外の人材を活用することも可能になります。日本の介護は、単なるサービスではありません。例えば、職員が利用者と話をする時、わざわざ膝をついて身をかがめて視線を合わせる光景は、海外では目にしません。そこに込められた「まごころ」こそ、伝えるべき日本式介護の本質なのです」と代表取締役の日高憲太郎氏は話します。

介護を支えるのは「人」
業界全体の未来を見据えて

2007年に設立した同社は、地域に根ざし、まごころのサービスを届けるという基本理念を掲げ、設立から今日まで、異例の急成長を遂げてきました。その原動力となるのは「人」だと、日高社長は言います。「私自身、これまで十分と誇っていたいほど人に助けられてきました。宮銀

さんにも創業からお世話になっており、私たちの事業内容をよく理解したうえでスピーディーな対応をしてくだっています。

独立以前は、看護師として働いた経験を持つ日高社長。人の「生」に関わる仕事のやりがいの大きさを知っているからこそ、経営者として、職員の業務負担の軽減や待遇改善に努める必要性を実感されています。利用者にとって最高のサービスを提供することはもちろん、従事するスタッフに対してもきちんと報いながら、自社の成長のため、そし



創業当初からお付き合いをさせていただいております。日高社長からの信頼に応えるべく、当社のビジネスモデルや介護制度についてしっかりと把握した上で徹底したサポートを心掛けています。

鹿児島営業部 営業課
医療ソリューションチーム
中原 崇



て介護業界の未来のため、世界を視野に入れた取り組みに今後も注目が集まります。

お客様の海外展開をサポート

バンコク伊勢丹のフードコートで「串間フェア」を開催しました



平 成30年2月、串間市との包括的連携協定に基づく協働事業の一環として、当社の業務提携先である「株式会社ePods」が運営する、タイのバンコク伊勢丹のフードコートにおいて「串間フェア」を開催。串間市の食材を使ったメニューの開発および特産品の販売促進、食と旅を連動させた観光PR活動を実施しました。

フェアには、串間市内の7事業者から甘藷や鮮魚、キンカンジャムなど、串間の特産約30商品が出品、販売されました。

このフェアを「過性の催事イベント」として終わらせることなく、今後も地域の食の認知度を高めると共に、交流人口の増加、地域経済の活性化を目指す取り組みを積極的にサポートしてまいります。

「みやぎん大連視察団」を派遣しました！



平 成29年11月28日〜12月1日、中国東北地域最大の工業都市である遼寧省大連市金普新区に、お客さまの海外ビジネス活性化を目的とした視察団を派遣しました。

視察団には、宮崎県内から11社11名のお客さまが参加。現地商業施設や延岡市に本社を置く企業の現地法人視察のほか、金普新区政府との意見交換会を実施しました。

大連市金普新区は、人口約158万人。その南部沿岸沿いの約60km²のエリアに平成29年3月、新しく自由貿易試験区が設けられました。外資企業へのサポートも充実しており、現在、1千社を超す日系企業が進出しています。

現地視察では、海外での商品ニーズを肌で感じるだけでなく、また、政府関係者との意見交換会においては、金普新区におけるサポート内容や、中国進出に関するアドバイスを受ける等、活発な意見交換が行われました。

今回の視察で、大連市との友好が深まり、また、参加者間で商談が成立するなど大変有意義な視察となりました。

お客さまの海外業務をあらゆる方面からサポート

国内企業の海外進出や海外との取引が増加する中、宮崎・鹿児島両県でも海外に目を向ける事業者が増加しています。そうした事業者の海外ビジネスのサポートが、私たち国際部の仕事です。海外ビジネスのサポートとひとえに言っても、お客さまのご要望は多岐にわたります。その多様なニーズにしっかりとお応えできるよう、海外企業とのビジネスマッチングや外貨建て融資の取り組みなど、業務の幅を拡充しております。この4月には「国際人財育成制度」を創設し、国際業務のプロフェッショナルの育成にも力を注いでいます。今後もお客さまの海外ビジネス支援を通じて、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

いつでもご相談
ください

国際部
部長
黒木貴則





はまや直売所
今年オープンしたばかりの直売所では、本カラスミのほか料理に活用しやすいカラスミパウダー、「お茶漬けセット」などを販売。さらにはボラの身を使った「生ハム」も。
TEL / 0985-26-1211
住所 / 宮崎県宮崎市永楽町212-1



ボラの身やカラスミを活用した料理の数々は『あめいるCAFE』で提供され、お客さんの評判も上々。



な中、従業員の一人が自作していたカラスミが目に入った。口にしてみると、そのおいしさに衝撃を受けた。「味は確かなのに宮崎では知られておらず、しかも日持ちがするので加工しやすい。出会った瞬間、『これだ！』と確信しました」。

それから、ボラが水揚げされたとの情報を得ては漁協に早朝から足繁く通い、加工を続けた。その後、漁師や漁業組合の協力を得て「ひむかの沖鰯」専門の水産加工事業を本格的に始動。2016年にはカフェの商品開発部を『はまや株式会社』として法人化し、今はまさに、その販路開拓に向けて邁進している最中だ。



小濱ゆうき社長(右)と、総務・統括の樋渡美里氏(左)。笑顔のたえないわきあいあいとしたやり取りが印象的。社員同士のコミュニケーションが、食べやすく手に取りやすい商品の開発に一役買っているのかもしれない。

ボラのおいしさを余すことなく伝えたい
ボラはかつて「寒ブリ、寒ボラ、寒ヒラメ」ということわざがあるほど、冬を旬とする高級魚として広く食されていた。しかし高度経済成長期に汚染された川で育ったボラが安価で流通して以来、「臭みがある魚」として敬遠されるようになった。小濱社長いわく「ボラだというだけで、話を聞

いてもらえないこともある」というほど、そのイメージは根深い。「宮崎のきれいな海で育ったボラは、卵巣に限らず、身も実はとてもおいしく食べられることをみんなに知って欲しい」と、カフェでもボラを使った料理を提供しており、お客さまからは「こんなにおいしいなんて」と驚きの声が多数上がる。そんなうれしい言葉を耳にして、より確かな自信を得



“主婦が感じる本物のおいしさ” 宮崎県産“ボラ”の 魅力を再発掘！



はまや株式会社



「ひむかの沖鰯」に特化した水産加工会社『はまや株式会社』。女性目線から県産ボラのおいしさに新たな価値を付与し、県内外に発信しようとするその取り組みについて紹介します。

日向灘獲れのボラを新しいブランドに！
舌に絡みつくような濃厚さと独特の味わいで、酒の肴にぴったりのカラスミ。ボラの卵巣を塩漬けて乾燥させた高級珍味だ。カラスミは長崎の特産品として有名だが、その原料には宮崎県産のボラが使われることも珍しくない。実際、宮崎で水揚げされるボラの多くは、県内ではほとんど

流通せず、県外や海外に売られていく。そんな中、いち早くそのおいしさに目を付け、魅力発信に努めているのが、『はまや株式会社』の代表取締役・小濱ゆうき氏だ。宮崎県漁業協同組合連合会と連携し、日向灘沖で水揚げされた新鮮なボラを「ひむかの沖鰯」としてブランド化し、カラスミをはじめ、新たな加工品の開発に積極的に取り組んでいる。

カラスミとの出会いから水産加工会社設立へ

ボラの加工を始めたきっかけは、古民家カフェ『あめいるCAFE』の経営を小濱社長が実母から受け継いだことだった。宮崎市の中心部にありながらゆったりと過ごせるカフェとして人気を集めていた同カフェを起点として、「地元の農水産物の魅力を伝える独自の商品を生み出せないか」と考えるようになった。しかし、野菜や果物、肉から思いついたアイデアはどれも、すでに店頭には並んでいるありがたきものばかり。そんな

Voice

これからの販路拡大をサポートいたします！

宮崎支店 営業係
荒川内 悠太

みやぎん女性起業家支援 ファンドで応援！

県産のボラのブランド化をはじめとする新たな取り組みと、自らその先頭に立ちビジネスを牽引していく小濱社長。女性の起業・経営を支援する本ファンドで、女性ならではの視点を活かした商品開発と販路開拓のサポートをさせていただきます。

た小濱社長。ゆくゆくは、ボラを全身余すことなく加工品にすることが目標だという。「どんなイメージがあるうと、そのおいしさに間違いはないですから。この事業と『ひむかの沖鰯』が、これからも一緒に成長していけたらいいですね」と、今後の展望を語る。



水揚げされたばかりの魚をスマートフォンで撮影し、その場でアップロード。



入札担当者は県内数カ所の漁港で行われるセリに参加し、目当ての魚を競り落とす。

当日、漁港に水揚げされた鮮魚が県外の飲食店からダイレクトに確認できる。

Voice

みやぎん地方創生1号ファンドで『CHOKSEN』を支援！

(株)デナーダ様のCHOKSENバイヤーズとCHOKSENマーケットの二つのサービスに、『みやぎん地方創生1号ファンド』の投資を実行しました。



門川支店 営業係 係長
田口 慎也

佐々木社長の、「漁師の所得が少しでも向上するように」との姿勢と取り組みに感銘を受けました。宮崎県産魚のアピールに貢献しながら、新鮮な魚を食べられる顧客も幸せになる。これらの取り組みは当行の地方創生に即する事業活動であると確信しております。今後、ITと1次産業の融合は必要不可欠になってくると思っておりますので、さらに積極的に支援させていただきます。

宮崎の漁業復興へ ITで新たな販路を構築

株式会社 デナーダ

漁師の所得向上を目的に『株式会社デナーダ』が始めた入札代行と産地直送のサービス。売る側の漁師、そして買う側の飲食店の双方に大きなメリットをもたらしました。

宮崎県産魚の知名度の低さに愕然

和牛のオリンピックとも呼ばれる「全国和牛能力共進会」で3大会連続して内閣総理大臣賞を受賞した宮崎牛など、県外で高い評価を受けている宮崎県の農畜産物。それに比べ、宮崎県産魚は県外ではあまり知られていない。

東京の大手IT企業に勤務時代、そんな状況に悔しさを抱いていたのが都農町に本拠を構える新鋭IT企業『デナーダ』の代表取締役、佐々木大樹氏だ。

「銀座のすし屋で食事をしていたときのこと、宮崎には熱帯魚しかいないんですよ」と言われたことがあったんです。宮崎の魚はそんなにも知られていないのかと、それはもうショックでした。同時に、宮崎の魚を何とかしなくてはという思いが沸々と込み上げてきたんです」

漁師さんの力になりたい

佐々木社長がそんな思いを抱

日はかかるのですが、CHOKSENだと翌日にはお客さんの元に届けられる。しかも間に市場や業者が入っていないので、お客さんは仕入れコストを削減できるんですよ。これまでより安く、しかも新鮮な魚を手に入れられる。飲食店にとってこれは大きなメリットだ。

販路拡大で入札価格が向上

首都圏にはデナーダ同様の事業を展開しようとする企業が数社あるが、いずれもうまくいっていないという。その理由を佐々木社長は、「東京にいるIT関係の人間が、電話で産地の漁師さんにあれこれ説明したところ、聞いてもらえないだろうし、協力してもらえないのは当たり前。産地とのつながりができていないんですから」と話す。

その点、産地に拠点を構えるデナーダは漁師と強い信頼関係を築いている。それは、「漁師さんたちの所得を向上させたい」という並々ならぬ想いが事業の根底にあるからだ。前述の『CHOKSEN』も、魚を購入する飲食店はもちろんだが、漁師さんにも大きなメリットをもたらしている。ネットを通じて入札に関わる人が増えたことで入

いたのには訳がある。延岡の漁師の家系に生まれ、自身もブリの稚魚を獲る『モジャコ漁』の手伝いをするなど漁師の苦勞を知っていたからだ。

そして平成28年、「とにかく漁師さんの力になりたいかった」と、得意のITで宮崎の魚の販路を拡大するためにデナーダを設立する。そのサービスが、『CHOKSENバイヤーズ』と『CHOKSENマーケット』だ。

入札代行と産地直送

CHOKSENバイヤーズは、県内数カ所の漁港で行われるセリ状況をリアルタイムでネット配信し、その様子をパソコンやスマートフォンで閲覧した飲食業関係者の希望に応じて、デナーダが入札するというもの。

一方のCHOKSENマーケットは、同社が厳選して落札した魚を『バイヤーズ』同様にネットで配信し、ユーザーが購入する仕組みだ。

「従来の流通経路だと、例えば築地市場まで届くのに4〜5

札価格が上昇したのだ。

「CHOKSENを始めてから、入札価格が平均100円〜200円は上がっています。私のいとも漁師なのですが、どれだけ苦労して魚を獲ってきても安くでしか売れなければ報われませんからね。これまでより高く魚が売れるようになったことに、ありがとうございます」と涙を流しながら言ってくださった漁師さんにもいきました」と佐々木社長。創業時に掲げた想いは、着実に実を結んでいる。

すべての生産者の所得を増やす

「魚だけじゃなく、肉や野菜などすべての農産物を扱うサイトを作りたい」と今後の展開について語る佐々木社長。市場の国際ハブ化など、ITによる販路拡大の動きをますます加速させている。

「もともと漁師の所得を増やすためにデナーダを立ち上げたのですが、今ではすべての生産者の所得を上げることを目標にしています。作ったものを売りたいという想いはみんな一緒ですからね。生産者の所得向上。それこそが地方創生だと思っております」。

**小学生を対象としたキッズセミナー
子供たちの金融知識の育成をお手伝い**



地域の未来を担う子供たちの金融知識を育成する取り組みとして、小学生を対象に「キッズセミナー」を開催しました。
 当行では、本セミナーを宮崎市・都城市・延岡市で年6回開催しており、お金クイズやおこづかい帳の使い方など、ゲームを通じて金融教育の基礎的な内容を体験してもらっています。
 これからも、子供から大人まで、幅広い世代に向けた金融経済教育に取り組み、安心して暮らせる社会の実現を目指してまいります。

**当行初の若手行員海外研修を実施
海外との取引を推進するお客さまと同じ目線に**



国際人財の育成の一環として、当行として初めて若手行員研修（総合職3年目27名）を海外で開催しました。2班に分かれて、それぞれ台湾、香港を訪問。企業訪問や視察を通して異文化や伝統に触れると共に、経済のグローバル化の進展を体験しました。
 その他にも、営業店長を対象とした海外研修や、宮崎大学の外国人留学生と当行員による国際交流会を実施。これらの取り組みを通じ、地元企業の海外取引をサポートできる人財を育成してまいります。

**未来の宮崎の特産品を目指して
「夢逢いファーム」のアボカド栽培が始動！**



平成29年8月、地元宮崎の基幹産業である農業に主体的に取り組むことを目的に、農業法人「株式会社夢逢いファーム」を設立しました。
 農地の造成・ハウス建設からスタートし、平成29年11月にはアボカドの苗木112本の植え付けを完了。現在、本格的な栽培に着手しています。
 アボカドが未来の宮崎の特産品となることを目指して、当行から出向した農場長が丹精込めて育てている苗木は、2年後の出荷に向けて順調に成長しています。

宮崎銀行女子陸上部だより

目指せクイーンズ駅伝！



チーム本格活動5年目の平成29年度は、全日本実業団女子駅伝（クイーンズ駅伝）の予選会であるプリンセス駅伝で、全29チーム中22位に終わり、全国大会の出場は叶いませんでした。
 今年度は、新入部員4名が新たに加わり、平均年齢20.1歳とフレッシュなチームに生まれ変わりました。初の全国大会出場に向けて、若さを武器にチーム一丸となって日々練習に励んでいます。今後とも引き続き、温かいご声援をお願いします。

**地方創生と女性活躍推進に向けて
日本郵便株式会社と連携協定を締結しました！**



平成30年2月、日本郵便株式会社と『地方創生』及び『女性活躍推進』に関する連携協定を締結しました。日本郵便株式会社は、全国24,000の郵便局と約40万人の社員数を誇る企業です。本協定をもとに、今後、地域活性化を担う人材育成や地元ブランドの全国発信の面で協働してまいります。
 これまでに「女性異業種交流会in宮崎」を共同開催したほか、今年7月には東京で宮崎県食材ブランドの発信を目的とした物産展および商談会を開催します。

**土日祝も稼働。平日は20時まで延長
“みやぎん”のATMコーナーがもっと便利に！**



平成30年1月、鹿児島県のお客さまの利便性向上のため、鹿児島県内11カ所にATMを新たに設置しました。
 また、宮崎県内・鹿児島県内の営業店に設置している「店舗内ATMコーナー」につきまして、土・日・祝日の営業を基本とし、平日の稼働を原則として20時までといたしました。（公共施設内の店舗内ATMコーナーおよび鹿児島営業部・鹿児島南支店など一部は除きます）
 “みやぎん”はこれからもお客さまの利便性向上に努めてまいります。

**全行員が健康でいるために
「健康経営優良法人2018」認定取得**



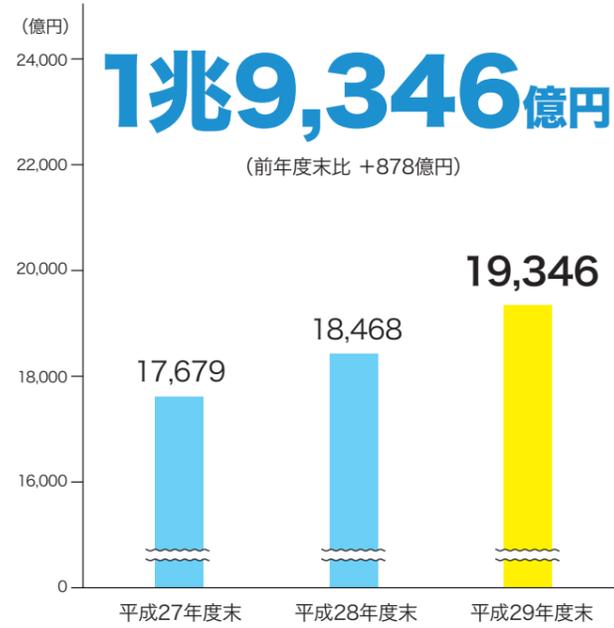
経済産業省及び日本健康会議より、「健康経営優良法人2018」の大規模法人部門の認定を取得しました。宮崎県内では、当行が初の認定法人となります。
 当行では、従業員を重要な経営資源の一つと位置づけ、一人ひとりが心身ともに健康で、最大限のパフォーマンスを発揮できるよう「みやぎん健康宣言」を策定。行内で健康管理に関する体制を整え、推進した取り組みが評価されました。これを機に、地域社会における健康意識の向上に寄与してまいります。

**世界を相手に大活躍！
「東京パラリンピック」挑戦へ第一歩**

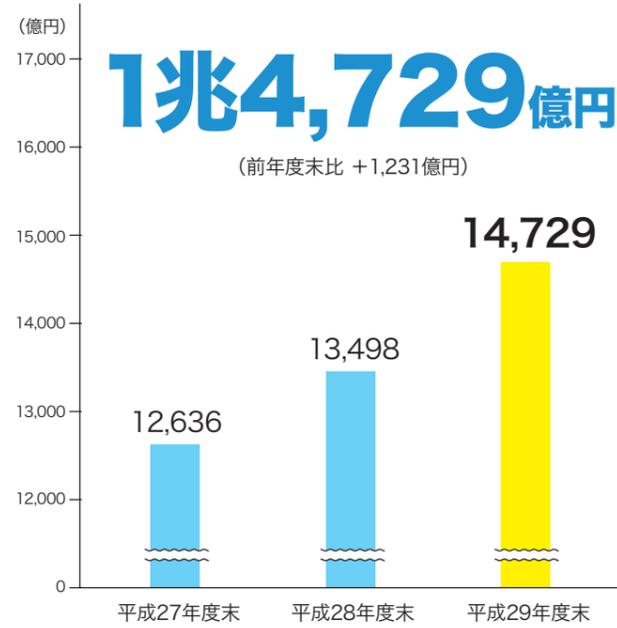


事務統括部に勤務する外山愛美さん（20）が、平成30年3月に開催された「ドバイグランプリレース」の女子400m部門において、1分1秒08のタイムで優勝しました。2017年の世界ランキングでは7位に位置する実力の持ち主で、国際大会でも着実に実力を発揮しています。
 外山さんは、2020年に行われる東京パラリンピックでのメダル獲得の夢を叶えるため、仕事と両立しながら日々練習に励んでいます。これからも、皆さまの温かいご声援をお願いいたします。

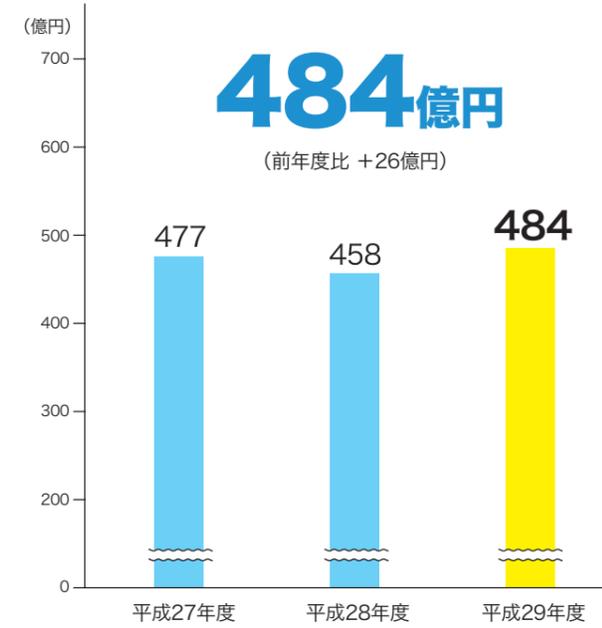
貸出金残高



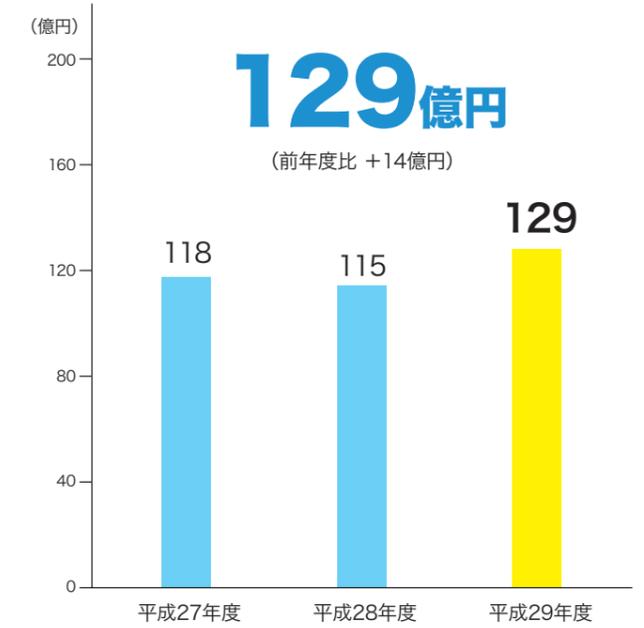
中小企業等貸出金残高



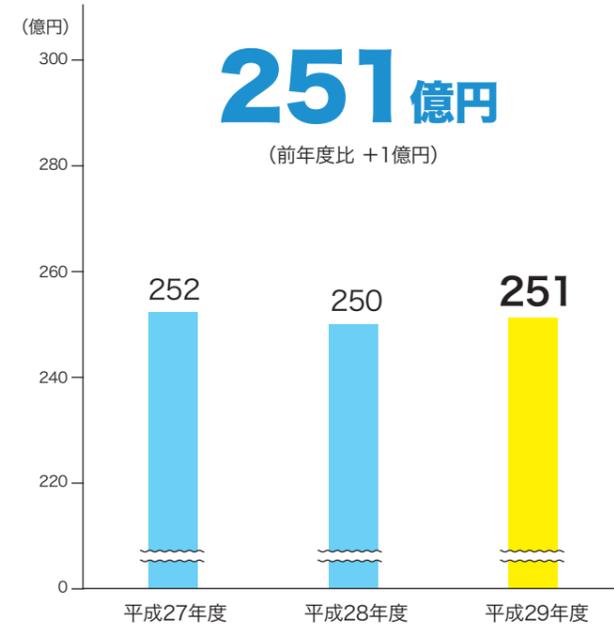
経常収益



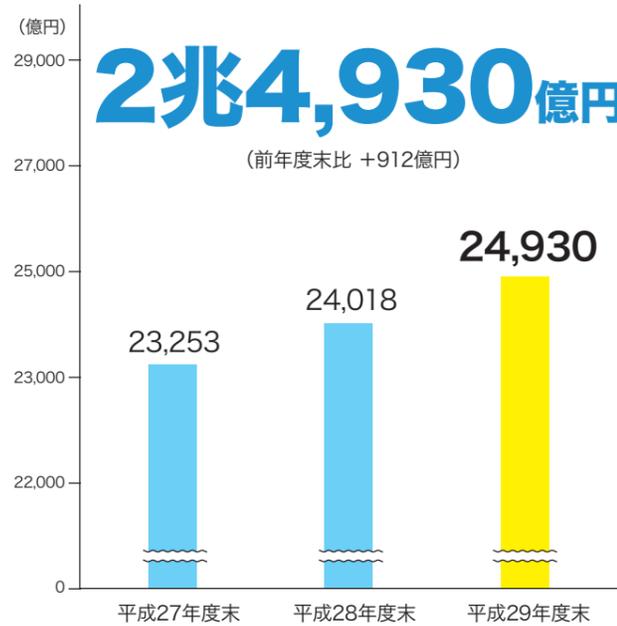
コア業務純益



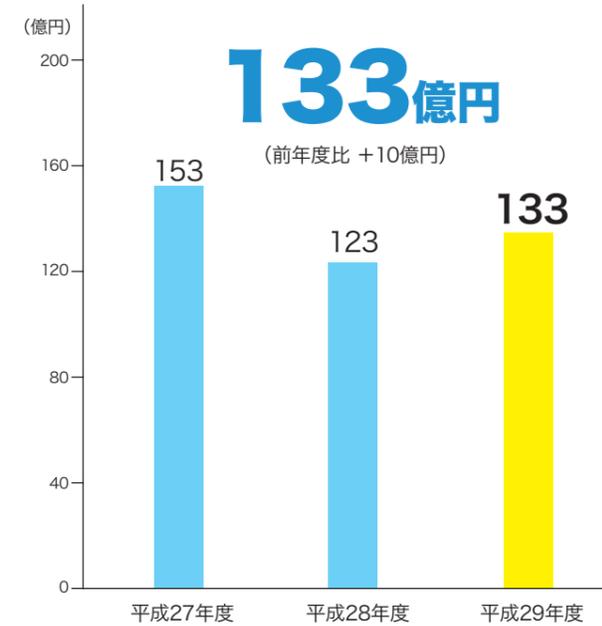
貸出金利息



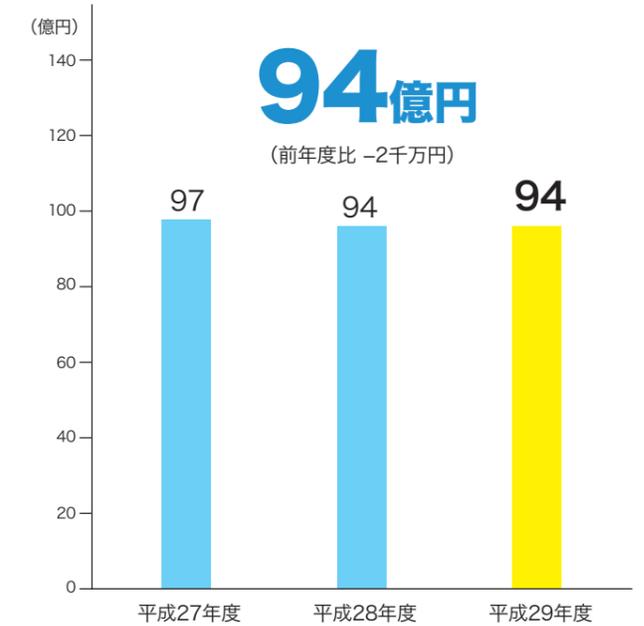
預金等残高



経常利益



当期純利益



株式についてのご案内

- 事業年度/毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 定時株主総会/毎年6月に宮崎市で開催いたします。
- 配当金/期末配当金は、毎年3月31日現在の株主の皆さままたは登録株式質権者さまに定時株主総会終了後、お支払いいたします。中間配当を行う場合は、取締役会の決議により毎年9月30日現在の株主の皆さままたは登録株式質権者さまに、お支払いいたします。なお、配当金のお受け取りには、当行本支店、出張所の預金口座

へのお振り込みをご利用いただけますと、早くて便利です。

- 基準日/定時株主総会の基準日は3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- 公告方法/当行ホームページへ掲載いたします(電子公告)。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、宮崎日日新聞および日本経済新聞に掲載いたします。

- 株主名簿管理人/東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号 日本証券代行株式会社
- 同事務取扱場所/福岡市中心区天神2丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店 ☎(092)741-0284
- 郵便物送付先・お問い合わせ先/〒168-8620 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎0120-707-843

- 各種手続のお申し出先/①未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申し出ください。②住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等については次の通りお願いいたします。(1)証券会社をご利用の株主の皆さまは、お取引先の証券会社へお申し出ください。(2)証券会社をご利用でない株主の皆さまは、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申し出ください。

◎平成29年度の詳細な決算情報が記載されたディスクロージャー誌「資料編」は、平成30年7月末に当行ホームページに掲載いたします。

ご利用は
無料!

スマホでかんたん決済! お支払いがもっと便利に!!

みやぎん Pay pb

Powered by

PayB

裏面に「PayB」の
表示がある払込取扱票が
お取り扱いいただけます

Point 1

**どこでも
かんたん決済**

Point 2

**バーコードを
スキャンするだけ**

Point 3

**利用はもちろん
無料**

4ステップでかんたんにお支払い



「みやぎん Pay」ご利用時の留意事項

- お取引可能時間 7:00~24:00(銀行休業日は8:00~21:00)
- 「みやぎん Pay」は、ピリングシステム株式会社が提供するスマートフォン決済アプリ「PayB」の機能を使用しています。
- 「みやぎん Pay」へ口座登録を行う際には、宮崎銀行普通預金キャッシュカードが必要です。
- 「みやぎん Pay」からお支払いされた場合、領収書(領収書)は発行いたしません。お取り引き内容は「みやぎん Pay」アプリの「取引履歴」でご確認ください。
- 登録自動車(軽自動車、小型二輪自動車を除く)の車検では、自動車税納税証明書の提示を省略できますが、「みやぎん Pay」でお支払いされた場合、納付情報が県のシステムに反映されるまでに相応の日数(最大4週間程度)かかります。車検をお急ぎの場合は、「みやぎん Pay」以外の支払方法をご利用ください。
- 「みやぎん Pay」で行った取引は取り消しできません。異なる納付方法で二重にお支払いを行った場合は、お支払い先にお問い合わせください。
- コンビニ払込票の汚れや破損などによりバーコードが読み取れない場合、ご利用いただけません。
- 支払い(納付)期限を過ぎたコンビニ払込票はご利用いただけません。

お問い合わせはお近くの宮崎銀行の窓口へお気軽にどうぞ

※アプリのご利用は無料ですが、通信にかかるパケット代は別途お客さま負担となります。

まずは
「みやぎん Pay」
アプリを
ダウンロード

iPhone の方はコチラ→



Android の方はコチラ→



※Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。 App Store は Apple Inc. のサービスマークです。 ※Google Play ロゴは、Google Play Inc. の商標です。